

秋田を元気に!

4年前の秋田県議会議員選挙秋田市選挙区において、25,730人の皆様から熱い支援を頂きまして、誠にありがとうございました。
秋田を元気にするため一生懸命に頑張ります!



1 災害に強い まちづくり

元秋田市役所南部市民サービスセンター職員

菅原きよし亀代嗣

2 最低賃金 全国ワースト1位から脱却

全国トップランナーである洋上風力発電を活かした産業の創出、雇用の創出、人材の育成を促進します。



3 アウトレットパークなど 若者の集える場所の誘致

- イ. クルーズ船の観光インバウンド、洋上風力発電事業とのタイアップ
- ロ. 4大プロスポーツ(ブラウブリッツ、ノーザンハピネッツ、ノーザンブレッツ、アランマーレ)を応援



4 教育環境の充実

- イ. 教師の多忙化 部活動指導者の委託
- ロ. スポーツ留学による人口流出をくい止めるため、高校スポーツ科の創設 (東北で無いのが秋田県のみ)



菅原きよし後援会

〒010-0916 秋田市泉北四丁目17-7
TEL: 090-9636-7619

MAIL: kameyoshi3129@gmail.com

経験を活かし 災害に強い 安全安心な まちづくりを



倒壊した家屋(7月19日、柏崎市)



道が分断され、移動も困難



建物の危険度を表す紙を貼ります

新潟地震

秋田市職員が見た!

被災建物の危険度判定に支援

7月16日に発生した「新潟県中越沖地震」。秋田市では地震直後の17日から20日まで、建物の「応急危険度判定士」から5人の職員を新潟県柏崎市へ派遣しました。
5人は柏崎市役所近くの商業地区で建物の安全性を調査。土蔵など古い建物が多く、建物倒壊が多数発生した地域です。水道が復旧しておらず、トイレもままならない状況で、実際に目にする被害は想像を超えるものでありました。



建築指導課 菅原亀代嗣

地域の絆を感じました

住民に危険を回避させつつ、いろいろな不安を抱かせない判定を心がけました。大変な状況でも冷静で明るい住民たちに驚くと同時に、近所の人の居場所を知っているなど、地域のつながりの強さが印象的でした。
腕章の「秋田市」に気づいたかたから、「遺くから来てくれてありがとう」と感謝されたり、貴重な飲料水をふるまわれたり、逆にねぎらわれることも多かったです。

広報「あきた」2007年(平成19年)8月17日号より

菅原きよしの災害に対する取組

▶ 能登地震から1年 東日本大震災から14年

- 平成19年7月 「新潟中越沖地震」応急危険度判定士として柏崎市へ
- 平成19年12月 秋田市役所建築指導課で秋田市耐震改修促進計画策定
- 平成20年2月 秋田高専生と「防災教育チャレンジプラン」に参加
- 平成23年3月 「東日本大震災」避難所支援で多賀城市へ

▶ 秋田市大雨災害から1年半

- 令和5年 秋田市南部市民サービスセンターで避難所支援、要支援者名簿の受付、被害証明の発行

▶ 全国でもどこでも起こり得る豪雪への対応

- 令和4年1月 奥羽住宅産業で除排雪のダンプトラックの運転(旧空港へ約100回)

▶ 全県どこでも出没する熊への対応

- 令和6年 南部市民サービスセンターで街路樹の剪定や道路等の除草(熊等生息地と居住地との区別を図る)

菅原 亀代嗣 (きよし) プロフィール

profile

- 昭和36年 秋田県平鹿町(現横手市)生まれ
(略歴)
- 昭和58年 明治大学建築学科卒
- 昭和58年 アキタパークホテル勤務
- 昭和59年 秋田市役所 駅東区画整理事務所勤務
- 昭和63年 建築課勤務、土崎中学校・大森山動物園・秋田県中央福祉エリアなど担当
- 平成16年 秋田県中央道路建設事務所勤務
- 平成29年6月 秋田市教育委員会総務課参事で退職
- 平成29年10月 横手市議

- 令和3年 奥羽住宅産業
- 令和4年 参議院議員石井浩郎 私設秘書
- 令和5年 秋田市役所 会計年度任用職員

(現在)

- 明治大学校友会秋田県支部 事務局長
- 秋田市役所美入野会顧問
- 500歳野球 アイリス所属
- 秋田県建築士会 2級建築士